

企 業 名：株式会社 アキタ・アダマンド
所 在 地：秋田県横手市
従業員数：男性 300 人・女性 134 人
業 種：光通信部品・精密部品の製造



取組内容

当社では、東日本大震災後、昼のピーク時間帯の電力使用量を低減するため、2011年（平成23年）から、サマータイムを導入しています。

通常は、8時30分から17時15分（休憩45分）までの勤務のところ、5月21日から9月20日までは、サマータイムとして、7時30分から16時15分（休憩45分）までの勤務としています。これは、全従業員（約430人）を対象としていますが、保育所等の関係で7時30分までの出勤が困難な社員のため、時差出勤制度（始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ制度）を利用して負担が少なくなるよう配慮しています。

また、早く帰れるので、その時間を活用してもらうため、会社指定の通信講座に力を入れています。修了した者には、講座代金の半額を会社が補助することになっています。

導入のきっかけ

メリット・デメリット

導入のきっかけは、東日本大震災後、電力を安定的に利用するために、会社経営陣が朝方の時間に着目したことによります。

制度導入当初は、保育所等の関係で7時30分までの出勤が困難な社員がおりましたが、時差出勤制度を利用してもらうことで、今は大きな問題もなく実施しています。現在、育児のための時差出勤制度は30人ほどの方が利用しています。

また、社員からは、道が空いて通勤が楽、早く帰れて助かるなどの声が寄せられるとともに、朝の静かな時間に仕事に集中できるという、多数の声が寄せられています。

さらに、サマータイムなんだから明るいうちに帰ろう、夕飯の前に何か1つ趣味の時間に使いたい、健康のために運動をしようなど、従業員が勤務時間を意識した働き方が浸透したと考えています。

平成28年度の取組

上記記載のとおり、9月20日まで取り組みを実施しました。従業員からは、「取組期間を長くしてもらえないか」といった好意的な意見が寄せられています。

また、当社の取組を秋田労働局のホームページで公表したことにより、関連企業等からこれらの取組が話題になるなど好意的な反応がありました。